

# Nara Women's University

## 『古代学』第7号刊行によせて

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 奈良女子大学古代学学術研究センター 公開日: 2016-02-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 舘野,和己 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10935/4136">http://hdl.handle.net/10935/4136</a>

## 『古代学』第7号刊行によせて

奈良女子大学古代学学術研究センターの研究紀要である『古代学』第7号をお届けします。本センターは、東アジアという広い視野の中で、日本古代の歴史・文学・言語などを学際的に奈良で研究することを目的に、2005年6月に発足しました。そして現在では奈良女子大学21世紀COEプログラム「古代日本形成の特質解明の研究教育拠点」（2004～2008年度）で展開した研究活動を、継承、発展させる活動を展開しています。都城制研究集会や若手研究者支援プログラムなどを毎年継続して開催しているのは、その活動の一環です。

そしてセンターの活動はそれにとどまらず、文理融合の上に古代学に関する新たな研究分野を開拓することもめざしています。その方面では理学部の研究者や学外の研究者の方々も加わり、出土遺物や文化財などに含まれるタンパク質や膠の自然科学的分析を行い、環境歴史科学研究の創成をめざすという、文理融合した最先端の研究活動を展開して、多くの成果をあげているところです。

『古代学』第7号には、こうした古代学学術研究センターの多様な研究活動内容を反映した、多彩な諸論文を掲載することができました。センター職員のみならず、協力研究員・研究支援推進員や大学院生などの論考も含まれています。それに学外の方にも参加していただきました。

今後ともセンターの学際的研究活動を反映した論文集として、『古代学』を成長させていきたいと思っておりますので、変わらぬご協力をお願いいたします。

2015年3月16日

奈良女子大学古代学学術研究センター  
センター長 舘野 和己